

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」大阪狭山金剛校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			密にならないよう席・場所の配置を工夫や、4人までの利用にしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			構造上、小さな段差等がある。今後も、十分に気を付けていきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	他の事業所や関係機関に直接意見をいただき評価のもととしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			ミーティングでも資質向上・スキルアップにつながる内容で意見交流をしている。また、支援研究所の定期的な研修を受講している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援後の振り返りの中で保護者と支援内容の追加等の意見をお聞きしている。また、アセスメント結果を全指導員で共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			新様式のアセスメントシートを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個人が立てているが、適宜相談したり、ミーティングで全員で検討したりしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			指導員を固定化しないことでプログラムが固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校の宿題等を通して生活のリズムづくり等をサポートしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月曜開所日のイベントや支援時間中に同時間の利用者でゲームをするなど、集団活動を通して学べる機会を設定することがある。コロナ禍での

					実施については、支援場所や換気徹底等について十分に気を付けている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝にできないときは、指導員が全員参加できる時間にミーティングを行って情報共有等に努めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		決まった時間にはできていないが、ミーティングや適宜指導員どうしで気づきや支援内容・方法を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議には、最も多く担当し、支援の状況をより理解している指導員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者や幼稚園等から依頼された場合や、きらりが必要と考えた場合は連携を図る。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、該当することがないが、必要に応じ関係医療機関に働きかけ、連携に努める。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者や幼稚園等から依頼された場合や、きらりが必要と考えた場合は連携を図る。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		保護者や幼稚園等から依頼された場合や、きらりが必要と考えた場合は連携を図る。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		発達支援研究所の研修や相談を行っている。また、必要に応じ大学教授等の専門家から助言をいただいている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	個別支援で利用時間が異なり、交流機会がない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		大阪狭山市の通所事業所の部会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日常的に指導員どうしが支援方法の相談等を行い共通理解に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		必要に応じ、振り返りの際に、家庭でできる支援プログラムを提供している。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			振り返りの際に不安や困りごと等をお聞きし、一緒に解決に向け考えるように努めている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	ママ・パパカフェを行ったことがあるが、時間等の設定が難しいのと、コロナ禍で実施が困難
非常時等の対応	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			HP のブログで月曜開所日の様子等をお伝えしている。また、LINE やポスターにより行事の案内をしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個別支援で利用時間が異なり、地域交流の機会設定は難しい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			周知については十分ではないので、ミーティングルームにマニュアルを置き、いつでも見ていただけるように工夫する。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			訓練は定期的に行っているが、職員のための訓練にとどまっている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食べ物を食べる機会がないが、必要な時は医師に相談し指示を受ける。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			小さな気付きの迅速な情報共有に努めている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名： こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校      保護者等数（児童数）： 38人   回収数： 24

割合： 63.2%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	2	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	8	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	24	0	0	意見を聞いていただき、共有しながら立案していただいている。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	21	3	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	14	7	学校で交流ができていますので大丈夫です。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	どのような支援か丁寧に説明していただいている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	1	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	11	7	知り合いの保護者どうしではよく情報交換をしている。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	8	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	5	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24	0	0	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	3	1	何かあれば連絡していただくので安心しています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	8	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	2	0	気分が良い時や自転車で行くときはすごく楽しみにしています。 振り返りの時間にするゲームも好きです。 きらりでのゲーム・工作が大好きで喜んでいきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	1	0	先生方が親切で優しく親しみやすく、子どもも警戒心を持つことなく楽しんでいます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。